

情報公開文書

研究課題名	骨髄系腫瘍に対する臍帯血移植において、前処置 Flu/Bu/Mel 後の生着率は Flu/Mel/TBI に勝る
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関:)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>小林 光</u> 当 院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>小林 光</u>
研究期間	(西暦) 2018年 1月 ~ 2018年 3月
研究の概要	(研究の意義・目的) 近年、フルダラ(Flu)、ブスルフェクス(Bu)、アルケラン(Mel)を前処置に用いた臍帯血移植の良好な成績が報告されています。当科でも 2014 年から取り入れ始めており、当科での成績の検討を行います。 (研究方法) カルテ閲覧により移植に関する情報を収集し、分析します。
試料・情報	(試料・情報の項目) 年齢、性別、疾患、合併症、生着、GVHD、再発、生存状況など
研究対象者	2006年11月～2016年までに当科でフルダラ、ブスルフェクス、アルケラン、または、フルダラ、アルケラン、全身放射線照射(TBI)を前処置に用いて初回臍帯血移植を行った骨髄系腫瘍(急性骨髄性・混合性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄線維症、慢性骨髄性白血病)の患者さん(以前に同種移植歴がある患者さんは対象外としています)。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>武田 航</u> TEL: 026-226-4131 (代表) FAX: 026-228-8439